

ビーチボール競技のチーム名に関する統一事項

「いつでも、どこでも、だれでも」ができるスポーツとして、全国に普及しているビーチボール競技は、「健康・レクリエーション」と「競技スポーツ」の両面を併せ持つ種目として今日に至っている。

「チーム名」において、以前は「チーム名が読みにくい」「スポーツのチーム名として相応しくない」等の意見が聞かれたことから、英語の使用を禁止してきた。

近年、大会の参加申込みにおいて、特に若い世代から「英語表記」での参加申込みを受け付ける機会が増えてきた。また、「全国的な大会では英語が使えるのに、富山県の大会で使えないのはなぜか」、「英語表記が格好良い」といった声が聞かれるようになった。

インターネットやパソコンの普及により、英単語やアルファベットは子供から大人まで日常的なものとなり、「英語がチーム名に相応しくない」という概念が薄れてきた。このことから、チーム名の表記について次のとおり基準を定め、今後もみんなに親しまれるスポーツとして更なる発展を期したい。

- (1) チーム名は、「ひらかな」、「カタカナ」、「漢字」、「英単語または英単語の組み合わせ」を用いることとし、字数は12文字以内とする。漢字は音読み、訓読みを原則とする。(フリガナは必ずつけること)ただし、記号、符号類は認めない。

(例)「YKK」、「NTT」、「flower」を認める。

「FLOWER@」、「星☆」、「GET!」は認めない。

- (2) 差別用語や社会通念上好ましくないとされる名前は認めない。

- (3) ロゴ、マーク、イラスト、デザイン処理を必要と思われるものは認めない。

- (4) 数字のみは認めない。但し、名前の後につける数字は認める。

(例) 楽天倶楽部60、鉄瓶50は認める。

- (5) チーム名の後ろに、但し書きや『』,「」,()等は認めない。

(例) 星(スター)は認めない

- (6) チーム名の使用可否の判断に疑義ある場合、チーム代表者と執行部との協議を行い、決定する。

付記事項

施行は、令和8年度定期総会の承認をもって施行日(令和8年4月11日)とする。